

事業所名

おひさま（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日

6

年

10

月

21

日

法人（事業所）理念		利用者の日常生活における基本的動作の指導や知識技能の支援、集団生活の適応訓練を主とし、又他の集団生活適応のための専門的な支援等もふまえ、総合的な支援に努める。						
支援方針		児童発達支援の支援方針を土台とし、慣れ親しんだ環境や先生、友だちとの日常生活での必要な自立につながる訓練をします。又、家庭とは違った様々な体験を通し、一人ひとりの発達に応じた支援をする。						
営業時間		14 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・迎え及び登室時を活用、子どもと共に体温、消毒、体調などを確認します。（又、プログラム毎に休憩を確実にとります） ・「始まりの会」の中で、あいさつや月日、曜日、天気と今日の予定プログラムの確認をすることで意欲づけを図る。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・「体操プログラム一運動」において身体やいろいろな道具を使い、運動技能や体幹、感覚的な調整をする。 ・室内の構造化等により、様々な困り感や感覚上の刺激に対応に努めます。子どもにとっての環境を大切に考える。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題等の学習支援も含め、諸活動の始まりと終わり、方法・内容・量をふまえた最後までやり切る体験を積み重ねていく。（言葉作り・折り紙・工作・五十音表・作文・伝言ゲーム・絵カードカルタ・買い物等） 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・読みきかせ等プログラムの中の活動において、ことばやその使い方、対応と表現、気持ちについて適切に支援をする。 ・休憩中等子どもたちの遊びの中で、指導員が子ども同士の話の橋渡しやことばを添える、話を広げる等の支援をする。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・大人や友だち等とかかわる小集団活動や行事において、安心・安全の場で様々な体験をすることで様々な人の思いや考えを知り、自分の考えを伝え合う。（散歩やお祭り、発表の場、買い物など地域社会とも関わることの支援） 						
家族支援		日々の連絡アプリや送迎時の連携を通して保護者への支援を深め子育ての困り感を軽減していく。		移行支援		進級や進学等様々な場面での困り感に対応し保護者を支える。（相談、情報交換他）		
地域支援・地域連携		関連小学校を含め近隣の諸々の福祉施設との連携を大切にする。くるみまつりや買い物等地域との触れ合いを大切にする。		職員の質の向上		内外の研修及びおひさま内スタッフ研修で具体的に子どもの姿や保護者の声をふまえた内容・質にする。		
主な行事等		くるみまつり・避難訓練・防災訓練（火災・地震・不審者対応）						

事業所名 おひさま（児童発達支援）

支援プログラム

作成日 6年 10月 21日

法人（事業所）理念		利用者の日常生活における基本的動作の指導や知識技能の支援・集団生活の適応訓練を主とし、又他の集団生活適応のための専門的な支援等もふまえ、総合的な支援に努める。						
支援方針		ゆっくり、ていねいに、こつこつと、発達段階や発達の状況に応じて、わかりやすい手だてで支援にあたります。（ABA・構造化など）一気もちの切り替えや集団への適応一						
営業時間		10時	0分から	12時	30分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・登室時の検温、消毒、手荷物等の適切な整理と、日常生活での基本的なスキルを身につける支援をする。 ・あいさつや月日、天気、今日の予定等を知ることでの心の準備を整える。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・体操プログラムの中で実施する運動やゲーム等を個又は小集団で取り組む。（トランポリン・ボール・フープ・縄・バランスボール他） ・身体の大きな（小さな）動きやバランス等微妙な感覚をモデリングやスモールステップにより体験を積み重ねる。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・「絵本」の読みきかせ（絵カード・カルタ、イスとりゲーム、紅白旗上げ、〇×ゲーム等）～最後を楽しく終わる支援の工夫をする。 ・個別支援の実施（線なぞり、色ぬり、数字、名前、ハサミの練習等）～色々な活動に取組み成功体験を多く積ませる。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・実施プログラムの中で、思いや考え等について伝えることばや表現方法を知り、体験をする。 ・休憩中の子ども同士の遊びや会話を支援の有効な場として、ことばの橋渡しやつなぎ、広げる工夫をする。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・行事やクラス活動を中心に、友だちや先生、大人、地域との活動と参加、体験を重ねます。 ・あいさつやきまりを守る等集団や地域社会での自主的な行動について知る。（SSTを加味する） 						
家族支援		日々の「連絡ノート」や送迎時に交わす保護者との会話・懇談会等の機会を利用し困り感を聞きとる。		移行支援		進級・卒園、入学等様々な場面での困り感に対応し保護者を支える。（相談、情報交換他）		
地域支援・地域連携		地域の認定こども園・幼・保・小などと連携を深めると共に、レク・スポーツの会やまつり等の機会を活用し地域とのつながりを大切にする。		職員の質の向上		スタッフ会議や全体研修会、外部研修への参加等を生かし、職としての質の向上に努める。		
主な行事等		入学式・卒園式・お誕生日会・レク・スポーツの会・発表会・くすみまつり・遠足・お泊り会・防災訓練（避難、不審者、地震、火災他）						